

MAIL NEWS

JTSU JR東日本輸送サービス労働組合
JR EAST TRANSPORT SERVICE WORKERS UNION

2020.6.7
No. 137



コロナ禍における社会生活・ライフライン維持に努める “エッセンシャル・ワーカー”の奮闘を報いる企業や行政 高まるエッセンシャル・ワーカーの労働価値



自衛隊ではボーナス最大15万円の増額、
ヤマト運輸では5万円の見舞金！

JTSU-Eでは、5月8日に申し入れた申10号「2020年度夏季手当に関する申し入れ」にて、夏季手当に加え、JR東日本グループで働く全ての従事者へ『危険有害業務』への特別手当を要求しています。既に団体交渉でも明らかな通り、会社の支払い能力は十分にあり、これまで労働者へ十分に還元せずに貯めた内部留保(利益剰余金)のうち、純資産は3兆1,734億円を計上しています。

参照: JR東日本 売上高と業績推移のグラフで財務諸表の内訳を比較分析 2020

https://gurafu.net/jpn/jrhigashinihon#_Balance_sheet

※右のQRコードからもリンクへ飛びます



私たちエッセンシャル・ワーカーは、新型コロナウイルスへの感染リスクと常に隣り合わせで従事してきました。また自衛隊に次いで、国内で2番目に新型コロナウイルスの患者を受け入れたJR東京総合病院で働く仲間は、フロントライン・ワーカー（第一線で働く人々）となっています。この現実を踏まえても、高まった私たちエッセンシャル・ワーカーの労働価値を適切に評価し、企業や行政がしっかりと応えていくべきです。

夏季手当・特別手当の要求満額を 全組合員でかち取ろう！



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を応援しています。

労働組合 × 
No one will be left behind